



## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドリコム

コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 戸谷 光久

TEL 03-3232-1600

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,670	8.5	162	—	158	—	54	—
21年3月期第3四半期	1,539	—	8	—	△12	—	△256	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	2,018.13	1,989.42
21年3月期第3四半期	△9,703.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	2,162	1,494	63.1	50,751.48
21年3月期	2,175	1,419	59.8	48,696.35

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,363百万円 21年3月期 1,301百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,190	3.2	89	—	81	—	1	—	37.42

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表など】4. その他 をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表など】4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 26,879株 21年3月期 26,724株  
② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 一株 21年3月期 一株  
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 26,821株 21年3月期第3四半期 26,392株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(9ヶ月)における我が国経済は、リーマンショック以降、世界金融危機により急激に落ち込み、その後、在庫調整及び輸出の回復などにより一部の経済指標に持ち直しの動きはあるものの、その水準は低く、雇用情勢や企業の業況においては、依然厳しいものとなっております。また、デフレや為替変動など、海外景気の下振れも懸念される状況にあります。

このような状況の下、当社グループは携帯コンテンツに関する事業を中心に引き続き順調に推移しており、費用につきましても合理化に積極的に取り組んだ結果、当初の予想よりも低く抑えられました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,670,324千円(前年同期比8.5%増加)、営業利益162,738千円(前年同期は営業利益8,142千円)、経常利益158,904千円(前年同期は経常損失12,897千円)、四半期純利益54,128千円(前年同期は当期純損失256,093千円)となりました。

なお、事業別の営業の状況は以下のとおりであります。

#### ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業では、利益面の改善に重点をおき、ストック型の収益を重視した事業展開を行ってまいりました。また、法人向けブログパッケージ事業の譲渡を進めることで事業の合理化を図ってまいりました。しかしながら、世界的な経済危機の影響から企業のIT投資意欲は一層鈍く、事業といたしましては低調に推移いたしました。

以上の結果、ビジネスソリューション事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は547,051千円、営業損失は28,380千円となりました。

今後につきましては、法人向けブログパッケージ事業の譲渡により同事業の収益が減少することが予想されますが、引き続き利益の改善に努めてまいりたいと考えております。

なお、譲渡対象部門の経営資源につきましては、適宜注力部門へ割り当ててまいります。

#### ウェブサービス事業

ウェブサービス事業では、株式会社ジェイケンを吸収合併し、携帯コンテンツに関する事業運営が効率化したことから投稿型携帯着信音配信事業や、携帯電話きせかえ事業の業績好調を受けて順調に推移いたしました。

また、株式会社じげんにおける業界別総合情報サイトの運営などのインターネット媒体を通じた情報提供事業について引き続き好調に推移いたしました。

以上の結果、ウェブサービス事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,123,273千円、営業利益は191,117千円となりました。

今後につきましては、携帯課金コンテンツ等の既存事業において課金会員の獲得を重視しつつ拡大を図り、mixiアプリ等のソーシャルゲームを中心に注力事業の人員増強並びに広告宣伝活動に注力し、事業収益を伸長させてまいります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は2,162,886千円となり、前連結会計期間末に比べ12,492千円減少しました。

その主な要因は、売上取引の増加による売上債権が22,632千円増加し、無形固定資産を70,880千円取得したものの、一方で繰延税金資産の取崩を32,479千円行ったことや有利子負債の返済を66,200千円行ったことによるものであります。

自己資本比率につきましては、四半期純利益を54,128千円計上したことや新株予約権の権利行使等により資本金及び資本準備金が8,507千円増加したことにより、株主資本が62,635千円増加したことに加え、負債が87,344千円減少したことにより63.1%と前連結会計年度末から3.2ポイント改善いたしました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は648,507千円となり、前連結会計期間末に比べ2,852千円減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は169,722千円の収入(前年同四半期は35,089千円の支出)となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益153,792千円を計上したことや、仕入債務の増加額15,392千円であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額92,456千円、売上債権の増加額22,632千円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は114,881千円の支出(前年同四半期は91,909千円の支出)となりました。

主な要因は無形固定資産の取得による支出70,880千円、有形固定資産の取得に支出26,021千円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は57,692千円の支出（前年同四半期は21,754千円の収入）となりました。主な要因は長期借入金の返済による支出66,200千円等によるものであります。

### 3．連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結売上高につきましては、携帯コンテンツ事業を中心に好調に推移いたしました。

また、費用につきましても合併により引継いだ繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、同資産を取り崩したことに伴い法人税等調整額を32,479千円計上したことや合併した子会社の利益が当初の計画を上回ったこと等により、子会社における法人税等の計上を行ったものの、保守的に見積もっていた営業費用が想定より少なく推移したことから、売上高、営業利益及び経常利益並びに当期純利益につきましては、当初の計画を大幅に上回る結果となりました。

通期につきましては、業績は好調に推移しているものの、一部法人向けプログパッケージ事業の譲渡に伴う売上高の減少やソーシャルゲーム事業への投資の本格化により費用の増加を予定しております。

また、現在の経済環境が依然不透明であることから変動要因を見込むことが困難であることを鑑み、売上面、利益面の各計画値は現時点では変更しておりません。

以上のことから、通期の業績予想につきましては、平成21年5月14日に公表した数値を変更しておりません。

今後、変更が必要となった場合には速やかに開示させていただきます。

なお、上記パッケージ事業に伴い発生する特別利益につきましては、平成22年1月末日を以って決定する旨を公表させていただいておりましたが、移管後の顧客サービス低下を防ぐため移管作業が想定より多く発生していることにより、現時点で最終的な譲渡価格が決定しておりません。

こちらにつきましても、譲渡価格が決定しだい速やかに開示させていただきます。

### 4．その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第2四半期会計期間において、下記のとおり連結子会社の移動がございました。

##### 1．吸収合併による連結子会社の消滅

平成21年3月25日開催の取締役会決議を受けて、当社の連結子会社である株式会社ジェイケンを平成21年5月1日付けで吸収合併いたしました。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の帳簿切下げの方法は、収益性が低下していることが明らかな棚卸資産のみ賞味売却価額を見積もる方法としております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	648,507	651,360
受取手形及び売掛金	471,875	449,242
商品及び製品	-	355
仕掛品	963	-
原材料及び貯蔵品	1,611	2,054
繰延税金資産	2,168	19,149
前払費用	32,853	33,542
その他	7,260	13,444
貸倒引当金	17,080	17,779
流動資産合計	1,148,160	1,151,369
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	28,157	20,464
工具、器具及び備品(純額)	28,159	24,577
有形固定資産合計	56,316	45,041
無形固定資産		
のれん	722,316	796,508
ソフトウェア	122,877	91,979
ソフトウェア仮勘定	19,442	892
その他	2,700	3,612
無形固定資産合計	867,336	892,993
投資その他の資産		
長期前払費用	1,366	2,173
繰延税金資産	-	11,953
敷金	83,680	67,731
その他	6,026	4,115
投資その他の資産合計	91,072	85,973
固定資産合計	1,014,725	1,024,009
資産合計	2,162,886	2,175,378

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,259	12,866
1年内返済予定の長期借入金	132,400	132,400
未払金	178,043	175,540
未払法人税等	36,956	73,753
未払消費税等	17,765	18,207
前受収益	26,070	28,323
前受金	94,072	78,749
賞与引当金	-	320
ポイント引当金	7,936	9,176
その他	19,302	32,614
流動負債合計	540,807	561,952
固定負債		
長期借入金	127,600	193,800
固定負債合計	127,600	193,800
負債合計	668,407	755,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,420	1,038,166
資本剰余金	1,283,400	1,279,146
利益剰余金	961,824	1,015,952
株主資本合計	1,363,996	1,301,361
新株予約権	7,474	7,918
少数株主持分	123,008	110,346
純資産合計	1,494,478	1,419,626
負債純資産合計	2,162,886	2,175,378

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,539,985	1,670,324
売上原価	492,317	447,646
売上総利益	1,047,667	1,222,677
販売費及び一般管理費	1,039,525	1,059,939
営業利益	8,142	162,738
営業外収益		
受取利息	861	129
受取配当金	100	-
消費税差益	-	749
その他	654	1,201
営業外収益合計	1,615	2,081
営業外費用		
支払利息	8,324	3,577
株式交付費	4,801	7
事務所移転費用	5,932	-
支払手数料	-	2,000
その他	3,597	330
営業外費用合計	22,656	5,915
経常利益又は経常損失( )	12,897	158,904
特別利益		
子会社株式補償金	150,000	-
ポイント引当金戻入益	1,071	1,424
持分変動利益	3,187	-
新株予約権戻入益	-	6,250
その他	-	699
特別利益合計	154,258	8,374
特別損失		
賃貸契約解約違約金等	12,894	-
固定資産除却損	4,081	1,818
減損損失	260,060	-
のれん一時償却	14,698	-
和解金	-	10,000
その他	-	1,666
特別損失合計	291,734	13,485
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	150,373	153,792
法人税、住民税及び事業税	94,793	58,067
法人税等調整額	11,068	28,935
法人税等合計	105,861	87,003
少数株主利益又は少数株主損失( )	141	12,661
四半期純利益又は四半期純損失( )	256,093	54,128

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	150,373	153,792
減価償却費	34,882	34,774
のれん償却額	115,982	74,726
減損損失	260,060	-
株式報酬費用	-	5,805
貸倒引当金の増減額( は減少)	9,338	699
賞与引当金の増減額( は減少)	419	320
のれん一時償却	14,698	-
固定資産除却損	1,869	1,818
子会社株式補償金	150,000	-
受取利息及び受取配当金	961	129
支払利息	8,324	3,577
株式交付費	4,801	7
新株予約権戻入益	-	6,250
持分変動損益( は益)	3,187	-
和解金	-	10,000
売上債権の増減額( は増加)	138,032	22,632
たな卸資産の増減額( は増加)	2,376	164
前払費用の増減額( は増加)	5,627	612
仕入債務の増減額( は減少)	1,448	15,392
未払金の増減額( は減少)	39,703	2,503
未払消費税等の増減額( は減少)	17,792	442
その他	1,053	3,185
小計	209,730	274,325
和解金の支払額	-	10,000
利息及び配当金の受取額	961	129
利息の支払額	4,450	2,276
法人税等の支払額	241,331	92,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,089	169,722
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	41,899	26,021
無形固定資産の取得による支出	52,509	70,880
差入保証金の差入による支出	2,631	1,911
敷金の回収による収入	58,921	-
敷金の差入による支出	51,731	15,949
その他	2,059	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	91,909	114,881

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	482,600	-
長期借入金の返済による支出	406,200	66,200
株式の発行による収入	899,568	8,507
少数株主からの払込みによる収入	9,990	-
新株予約権の発行による収入	996	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>21,754</b>	<b>57,692</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	105,244	2,852
現金及び現金同等物の期首残高	625,479	651,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	520,235	648,507

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	ビジネス ソリューション事業 (千円)	ウェブ サービス事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	659,295	880,689	1,539,985	( - )	1,539,985
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,583	-	3,583	(3,583)	-
計	662,879	880,689	1,543,568	(3,583)	1,539,985
営業利益又は営業損失 ( )	128,476	136,618	8,142	( - )	8,142

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	ビジネス ソリューション事業 (千円)	ウェブ サービス事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	547,051	1,123,273	1,670,324	( - )	1,670,324
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	22,296	13,627	35,923	(35,923)	-
計	569,347	1,136,900	1,706,247	(35,923)	1,670,324
営業利益又は営業損失 ( )	28,380	191,117	162,738	( - )	162,738

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。